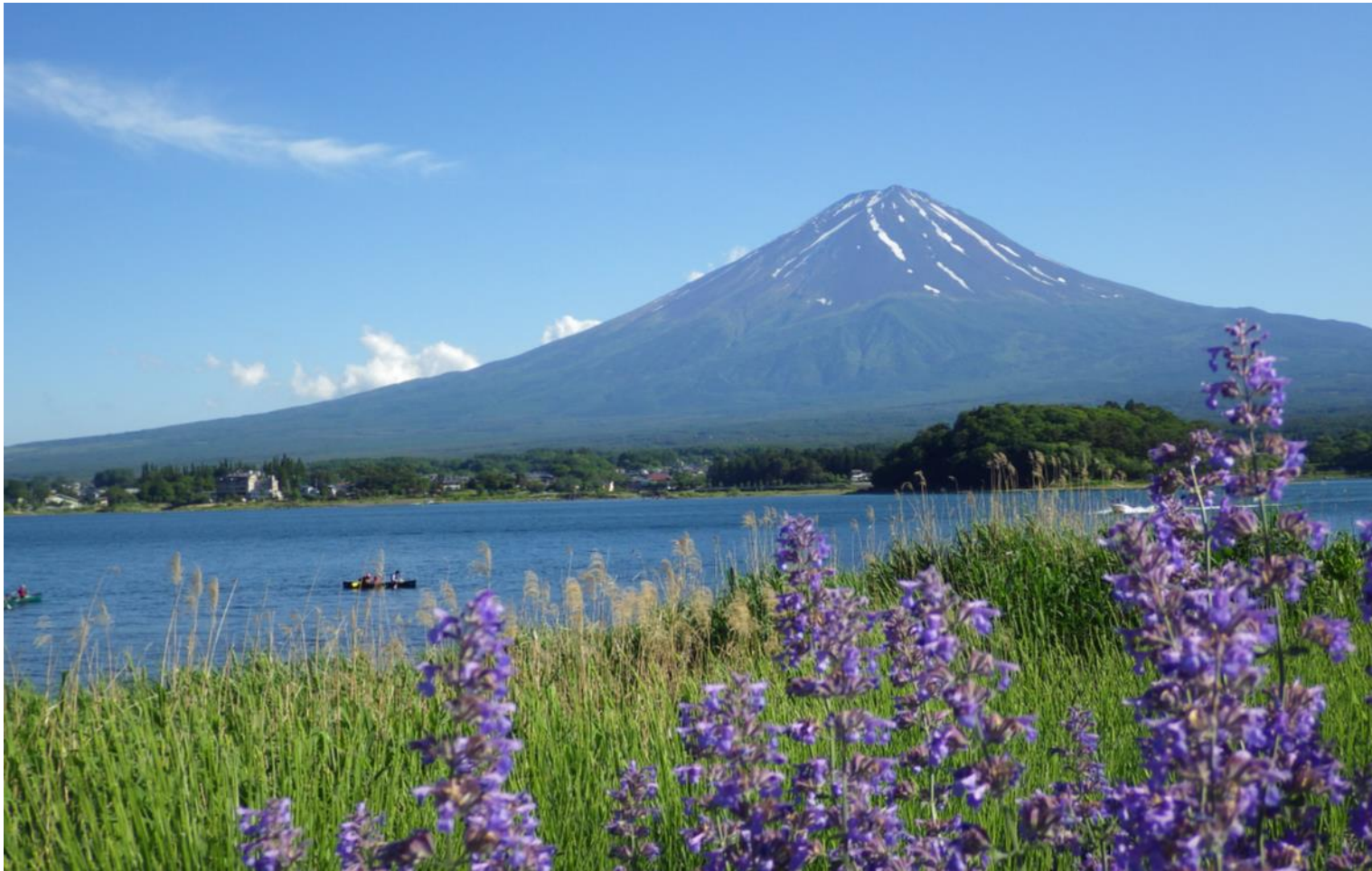


富士山憲章 ニュースレター

No117

2015
7



富士山憲章ニュース	…P1
富士山レンジャー活動報告	…P2
富士山に登ろう！	…P3
富士山でみられる動植物	…P6
富士を望む山々 杓子山	…P7
More・モア富士山関連重要資産 下吉田駅と新倉山浅間公園	…P9
お知らせ	

6月上旬の、大石公園から見た景色です。富士山もラヴェンダーも美しく、一枚に収めてみました。ラヴェンダーは、河口湖の初夏の風物詩です。

**2月23日は
富士山の日**

富士山憲章山梨県推進 会議幹事会が開催されま した

平成二十七年五月十九日(月)富士山ビジターセンター研修室において、平成二十七年年度の富士山憲章山梨県推進会議幹事会が開催されました。

富士山憲章の理念を実現するために設立された富士山憲章山梨県推進会議(事務局 富士山ボランティアセンター)ですが、今年で事務局開設後15年を迎えます。

幹事会はその予算や本年度の活動内容を決定する重要な会議です。構成団体である山梨県と富士山北麓の七つの市町村(富士吉田市、西桂町、忍野村、山中湖村、富士河口湖町、鳴沢村、身延町)と二つの恩賜林組合(富士吉田市外二ヶ村恩賜林組合、財産保護組合、鳴沢・富士河口湖恩賜林組合、財産保護組合)の担当者が参加しました。

昨年度の決算報告と事業内容の説明のあとに、本年度の予算の説明と事業内容の説明が行われました。

本年度も、富士山のマイカー規制期間中(7月10日から8月31日まで)の混雑日に、北麓駐車場

でゴミ袋等の啓発物品を配布するキャンペーンが行われることになりました。

また、8月22日には、ボランティアとともに清掃する富士山エコトレッキングを実施することになりました。

この北麓駐車場キャンペーンはボランティアの方を、富士山エコトレッキングは参加者を、現在も募集しております(7月31日まで)。興味のある方は、10ページをご覧ください。

山梨県と静岡県が合同で行ってきたキャンペーンは、例年とは異なり10月に実施することとし、国道139号線の県境を挟んだ清掃活動の実施を予定しています。

富士山ボランティアセンターはその他にも様々な富士山の環境保全啓発活動を行っており、ニューズレター、メルマガの発行など情報発信や北麓地域にて清掃活動する団体に無料で軍手、ゴミ袋を配布する事業などです。(詳しくは富士山ボランティアセンターのホームページをご覧ください。)会議を行なった富士山ビジターセンターにはたくさんの方の外国人の方が訪れており、世界遺産となった富士山への関心を実感し、これらの環境保全事業の重要性を幹事会の担当

者が再認識した上で、事業内容の承認が行われ散会となりました。富士山ボランティアセンターは富士山スバルラインの入口にある富士山ビジターセンター内に事務所があります。富士山の環境保全に興味がある方は是非お立ち寄りください。



富士山憲章山梨県推進会議
幹事会の様子

吉田口登山道清掃活動に参 加しました

5月10日に「富士山吉田口登山道周辺清掃活動」に参加しました。当日は好天に恵まれ絶好の清掃活動日和?で、地元企業を始め地元団体の方々330名が参加しました。富士山憲章山梨県推進会議事務局職員は、富士山北麓駐車場から中の茶屋に向かう遊歩道を歩きながらゴミ拾いをしました。道路脇には煙草の吸殻、橋の下には空き缶や商品の空き箱等、車

で通ると気づかないゴミを一つひとつ拾いました。他の清掃箇所では、タイヤやストロー、中には犬小屋まで捨てられていたそうです。2時間30分の活動で可燃物280キロ、不燃物540キロを収集(実行委員会発表)しました。昔に比べるとゴミや不法投棄は減ったと言われていますが、一部の心無い人が捨てている現実が残念ではありません。



吉田口登山道清掃活動の様子

編集者が替わりました

いつも富士山憲章ニューズレターをお読みいただき、ありがとうございます。今号から編集を担当いたします、網倉と申します。これから、富士山憲章や環境に関する記事等を取り上げることで、皆さんにホットなニュースをお届けできればと思います。これからも、この富士山憲章ニューズレターをよろしく願っています。



登山道の様子(6月23日)

今年も7月1日に富士山が開山しました。すべての登山者が安全に登られることを願うばかりです。今年は記録的な降雪のあった昨年と違って残雪も少なく、例年開山前におこなわれる吉田口登山道の雪かきも、登山道のゴミ拾いという形で実施されました。富士山レンジャーも参加し、ゴミを回収しました。

富士山レンジャー 活動報告

2015年4月～6月

富士山レンジャーは通常の巡回に加え、今年新たに7月～9月の登山期間中、五合目の総合管理センター前で「安全登山レクチャー」を実施しています。軽装や無計画に富士登山に来る人に声をかけ、事故を未然に防ぐことが目的です。また、落石や転倒時の頭部保護と昨年の御嶽山噴火をふまえ、登山者にヘルメットと防塵マスクの持参を呼びかけています。



軽装登山者への啓発(昨年)

例年、開山中に啓発・指導をおこなっていて、「富士山に来る前の啓発が必要」と感じます。そのため今年も6月27日と28日に、東京の高尾山山頂で安全登山啓発をおこないました。「なぜ高尾山で富士登山啓発？」と思われる方も多い

でしょうが、高尾山は関東圏在住の方が富士登山の事前トレーニングに来る割合の高い山なのです。昨年度の啓発では、声をかけた4組中1組が「富士登山を目標に登っている」方々でした。高尾山と富士山ではかなり標高差もあり、どこまでトレーニング効果があるかはわかりませんが、新しく購入した登山用具の足慣らしをするには十分でしょう。また、6月19日に横浜で旅行会社・山岳用品店・関係団体を対象にした静岡県主催のガイダンスで「富士登山の傾向」として講演しました。また6月28日と7月12日には、大阪で一般者を対象にした富士登山セミナーでも講演しました。



高尾山での安全登山啓発

そのほか保全活動として、富士河口湖町がおこなっている特定外来生物の駆除活動に参加しました。特定外来生物のなかでも『アレチウリ』は成長スピードがとて早い。性的植物で、在来植物を覆い死滅させることから、生態系と景観への悪影響が心配されています。外来生物の完全駆除はなかなか難しいのですが、このまま放置すれば大繁殖する可能性が考えられることから、町では2年前より年に数回駆除活動をおこなっています。富士山レンジャーも可能な限り参加しています。駆除活動は在来植物と外来植物を選別しながら行う必要があるため、全て手作業でおこなっています。



富士登山セミナー(6月28日)

- 環境教育の実施
- ・学習会…7回
- ・出張講座…10回
- ・自然解説…5回
- ・そのほか、小中学校へ写真パネルの貸出し
- そのほかの活動
- ・合同巡回…車両乗り入れ防止合同パトロール、吉田口登山道馬返安全登山啓発、山静神合同富士箱根伊豆地域不法投棄防止一斉パトロール、
- ・清掃活動参加…吉田口登山道周辺清掃活動、富士山クリーンアップキャンペーン
- ・富士スバルライン五合目の防災訓練に参加
- ・取材対応…山梨放送「わくドキやまなし」
- ・写真提供…東海ウォーカー、静岡県文化・観光部、富士五湖観光連盟



駆除活動(右手にアレチウリ)

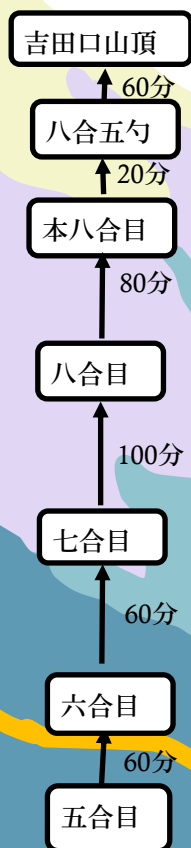
富士山に登ろう！

「今年も7月1日に、開山した富士山。例年、多くの人が富士登山の起点とする吉田口登山道の様子、登るときのポイント、周辺の魅力などを紹介します。」

○本八合目付近
ここまで来ると雲もはるか眼下に。美しい景色を背負いながらゆつくり登ろう。



○山小屋
富士山の七合目以上には多くの山小屋があります。山小屋を上手に利用して余裕を持った登山を心がけましょう。



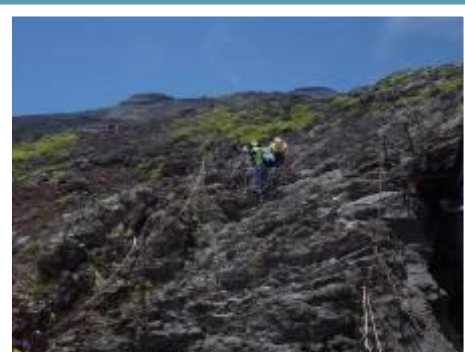
富士スバルライン



ロータリー
のこちらには富士山グッズさんや登山用品店があります。ゆつくり準備状態で登り始めましょ



○御中道・奥庭
登山はしなくても富士山の自然を楽しみたい！という人にはオススメのコースです。急勾配もなく、秋には金色に染まったカラマツも楽しむことができます。



○七合目
七合目からはご覧のような岩場の登山道に。足元に注意しながら慎重にいきましょう。



○山頂

御来光。疲れも吹き飛ぶ美しさ！御来光を観たい気持ちは分かりますが、くれぐれも弾丸登山は控えてください。なお、吉田口登山道では登山道のどこからでも御来光を見ることが出来ます。



御鉢巡り90分

吉田口山頂

40分

吉田ルート・須走ルート分岐点

120分

六合目

50分

五合目

←○山頂直下
御来光を見た人が一気に駆け下りる為、下山道は砂埃がものすごいです。防塵マスクを携行しましょう。



○下山道→

つづら折りの道が延々と続く下山道。実はここが一番富士登山でつらいところかも・・・下山の体力を残しておくこと！



○下山道トイレ(七合目)

下山道にはトイレが一か所しかありません。行列必至なので山頂か、本八合目でトイレに行くのを忘れずに！



○下山道シェルター(六合目)

ここまでくればもうひと踏ん張り！ 落石に備えてちゃんと中を歩きましょう。



○五合目

富士登山の起点ズを扱うお土産等、たくさんのお備をして万全なう。

万全な準備で富士登山を快適に！



ヘルメット、マスク、ゴーグル
頭部保護や防塵等、安全快適な登山に有効です。
その他、突発的な噴火の際にも有効です。



ヘッドライト
夜間登山には必須です。
昼間の登山でも万が一に備えて持参しましょう。



飲料水1ℓ以上
体重60kgの人が8時間歩くには1.2ℓ必要です。
山小屋でも販売しています。



食糧
余裕をもって2～3食分持参しましょう。
疲労回復にチョコレート等の補助食も忘れずに。



100円玉
富士山のトイレ利用には1回200円～300円のチップが必要です。
事前に準備をしておきましょう。



防寒具

富士山頂は気温が平地より約20度低くなるためダウン等の上着、手袋帽子など防寒具が必要です。真夏でも冬と考えてください。レインウエアも防寒に有効です。



レインウエア

天候が変わりやすい為、雨具は上下セパレートタイプを持参しましょう。風が強いためポンチョや傘は役に立ちません。



登山靴

靴底がしっかりしたグリップの良い、くるぶしまで覆う登山靴をお勧めします。

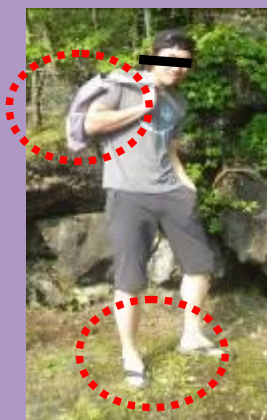


ゴミ袋
富士山にはゴミ箱はありません。
ゴミ袋を持参し、ゴミは持ち帰ってください。
ゴミ袋はお配りしています。



携帯トイレ

7月1日～10日、9月10日～14日は山頂トイレが使えません。
携帯トイレを持参ください。
※静岡県側の開・閉山時期が違うため



富士山でよく見かける悪い例…

- ・未だに軽装登山者を見かけることがありますが、絶対にやめましょう。富士山は夏でも氷点下近くまで気温が下がることがあります。また、足場が悪いのでサンダル、両手が自由にならないトートバッグ等も危険です。(写真左)
- ・コスプレをして登ってくる人を見かけることもあります。せめて万全の装備を携行していただきたいです。(写真右)

『コンパス』を活用して安全登山を！

『コンパス』はお手持ちのスマホやパソコンから登山届が出せるシステムです。富士山は観光気分で登られる方も多いですが、れっきとした日本一の標高を誇る「山」です。また、活火山でもあります。万が一の時に備えて登山届を提出しましょう！

コンパス 登山届 検索

すぐに検索してみるマル！



富士山でみられる 動植物



山頂
9合目

「富士山には動植物なんて何も無い。だからつまらない。」なんて事を言う人がたまにいるが、大間違いだ！富士山にも立派な四季があるし、それに伴って色々な植物が生え、変化し鳥や蝶が飛んで来たりと、常になにかしらの変化がある、とても面白い山なのだ。今回は少しだが、そんな富士山でみられる動植物を紹介したい。

・イワヒバリ

山頂にも飛んでくる小さな鳥。好奇心が旺盛なのか、よく人に近づいてくる。疲れきった登山者を横目に、さっそうと飛び去って行く姿は力強く、羨ましくもなるな。



・オンタテ

富士山のように環境の厳しい場所でも活き活きと育つ植物。水はけの良い溶岩の上で、少しでも多くの水を吸収するために、根っこは3m近く育つぞ。



7、8合目

・ルリハムシ

瑠璃色の羽根を持つキレイな(?)虫。富士山に飛んでくる鳥たちの貴重な食料だ(笑)。登山道を歩きながらよくみて見るとたくさんいるぞ。



・ホシガラス

カラスの仲間だが、街中でみかけるカラスよりひと回り小さい。黒い体に白い星が散りばめられたような模様があるぞ。見られたらラッキーだ!!



5、6合目

・カラマツ

針葉樹の仲間だが、秋には黄葉し、落葉する。5、6合目では大きい木が目立つが、それ以上は森林限界となり人の背丈を超える樹木はなくなる



・セイヨウタンポポ

あれ…この植物は昔はここには無かったんだけどなあ。富士山の生態系を守るためにも対策はしっかりしないと!!



・コケモモ

秋にはジャムにしても美味しい、真っ赤な実をつけるぞ。でも五合目以上の特別保護地区では動植物の採取は禁止だからな!!



・ニホンカモシカ

国の天然記念物にも指定されている珍しい哺乳類。名前にシカとついているけど、実はウシの仲間なんだぞ。



・フジアザミ

観察をするときは注意が必要。トゲトゲで触ると痛い。紫色の花は大人のこぶしぐらいの大きさがあるぞ。



・ギンリョウソウ

森の中にひっそりと生えている真っ白な植物。きのこみたいだけどきのこじゃないぞ。

・フテリンドウ

足元にも要注意!!小さくて可憐な花を見逃してしまうぞ。大きさは500円玉くらいだ。



・ニホンリス

言わずと知れた人気者。春が来ると忙しそうに動き回っているのをよく見かけると。



3、4合目

1、2合目

草原、花、蝶、富士を楽しむ

杓子山

忍野の市街地から富士山と

これが杓子山だ。

富士の眺望の良さと、豊富なルートで県内外から登山者が山頂を目指す人気の山だ。

初夏の杓子山は、他の山に似ない新鮮さを見せてくれ、きつと心を奪われるだろう。



今回の「富士を望む山々」はそんな魅力たつぷりの杓子山を紹介する。

构

子山の山頂を目指す

には、鳥居地峠ゲート上の登山

たかさすやま

道から高座山を経て山頂を目指すコースと、富士吉田側にある不動湯の上から山頂のみを目

たちんづか

指すお手軽コース、立ノ塚峠か
ししどめやま

のしどめやま

ら鹿留山方面より杓子山を
目指すコース、そしてどちらも熟
達者向けの西桂から倉見山を
経て杓子山へ抜けるコース、都留
の御正体神社のゲートから山頂
を目指すコースと、本当にバリ
エーションが豊富である。今日は
最も登山者の多い鳥居地峠の登

登山口入口の案内に導かれ、暗く静かなカラマツの森へ入り数分、心が山モードに切り替わるのもつかの間、新緑のカヤト

（茅やススキで覆われた草原）が目いっぱい

飛び込んできて驚く。

ススキの草原の山は、
そう珍しくないが、

まるで中央アルプスの

せんじょうじき

千畳敷のカールのような

広く穏やかなカヤトは
なかなか見れるものではない。

カヤトと空の境界線から
真つ白な夏雲が湧き出て

緑、青、白のコントラストは

美しいの一言に尽きる。

また、林業の為の細道が何本も入っているのも模様のように面白い。

右手には左右いっぱいに裾野を広げた富士山と町並みが良く見える。ここからまず高座山を目指す。なかなか急な登りが続く。特に山頂直下は急登で足元も滑りやすい。ロープがありがたいが、下から2番目のロープは切れかかっているので、使わないようにする。息を整えながら慎重に登る。ツツジやアヤマがたちここに咲いていて目を奪われながら登るので、さほどきつくない。



高

座山の山頂は三角点と道標はあるが、展望はない。山頂の少し手前に戻れば富士の展望を楽しめる。ここからは涼しい尾根歩きが続く。よく整備された尾根道でアップダウンを繰り返しながら進むと鉄塔下に出る。ここまでくると河口湖の街並みが左手に開ける。岩と樹林のアップダウンを慎重に先へ進むと、少し明るく広い不動湯との合流地点に出る。ここが大権首峠だ。ここから山頂まで標高差200mを一気に詰め上がる。途中、黒いマットが敷かれた広場に出る。下にはオレンジ色のクッションのようなものが見える。ここがハンググライダーの離陸地だ。麓から見えたハートはこのクッションだったようだ。危険なので中には入らないようにしよう。しかし、富士山に向かって飛び立つ姿を想像すると実に爽快で空を舞いたい気持ちに駆られる。そしてここから先はより急な登りとなる。滑りやすく急なため足には負担が大きい。ロープの助けもある。ゆっくり慎重に進むと明るい広場に出る。新しいベンチが並ぶここが杓子山の山頂だ。天空の鐘と名付けられたかわいらしいモニュメントの鐘は、カーンと高く美しい音で山頂を包み込んでくれる。道志山系や都留方面の街並みも望めるが、圧巻なのはやはり富士山だ。ここで見る富士山が一番大きく見える気がする。そして、カヤトの恩恵か、花と蝶などの昆虫が多いのも特徴だろう。

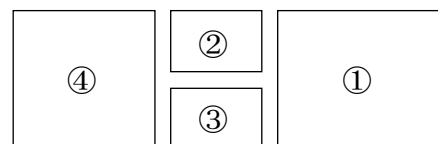
おおよそ

梅雨の晴れ間に登れた杓子山はたくさん生き物が歓迎してくれる、美しく賑やかな、そして、たくさんさんの顔を持つ山だった。

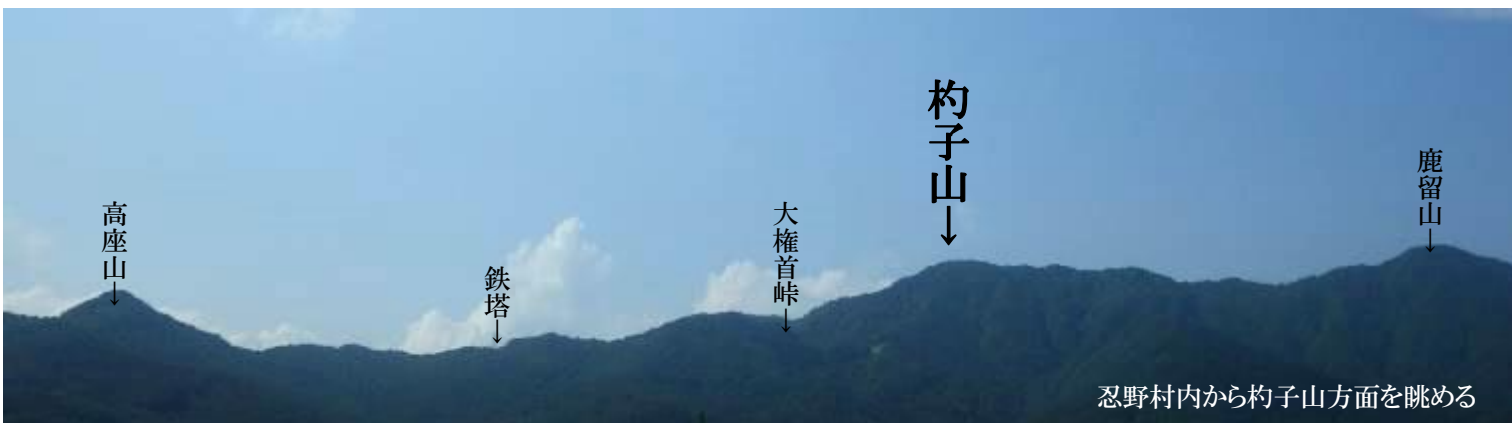
【取材】

2015年6月15日

【写真下】高座山下部の切れたロープ。なるべく使用を控えよう。



- ①山頂で見つけたアゲハチョウ。
- ②ニホンリスの食痕。
この森にリスが暮らしている証拠。
- ③鉄塔の下を通ることが出来る。
意外と貴重な体験かも？
- ④アヤメ。他にもツツジやノバラなどが咲き誇っていた。



忍野村内から杓子山方面を眺める

下吉田駅と新倉山浅間公園【富士吉田市】

忠霊塔と富士 富士吉田市のシンボル



もあもあをご覧の皆様ご無沙汰しております。いよいよ富士登山シーズンを迎え盛り上がりつつきたこの富士北麓地域、レンジャー一同気合を入れてますます業務に励んでいます。

さて、この「もあもあ」シリーズも、ついに焼きが回ったのか、なんと今回ご紹介するのは「下吉田駅」というもう既に世界遺産とも重要ともよくわからないスポットをお届けいたします。しかし、侮るなかれ！この生粋の地元つこ（前回から推している）の私も心躍る取材となりましたので、自信をもつて薦めさせていただきます。

まず今、世界中の富士山を訪れる人々から熱い視線を浴びている新倉山の浅間公園、通称「忠霊塔」をご紹介しましょう。忠霊塔の名の通り、ここは戦没者の霊を弔うための五重の塔がそびえております。この塔をバックに美しい富士を四季折々にながめることができるのがこの公園です。

私もたびたび訪れているのですが、麓から歩いてこの絶景を楽しむというタイの方々をよく見かけます。タイ人にとってはこの風景が「THAI 日本」の象徴となつているようで、なんとも誇らしいではありませんか。展望地から15分程度歩くと富士山の全容が臨めるアヤメの群生地もあります。

さて、あまり交通の便も良くないかと思われるこの場所にどの

ようにたくさん外国人が訪れているかというところ、それが最寄駅の「下吉田駅」です。あまりに

使うことの少ないこの駅に私も足を踏み入れてみれば、そのハイカラさに胸が高鳴ります。駅舎

の西には、天井が高く癒し空間が心地いいカフェも併設されています。取材は平日だったのですが、近所の方に愛されている様子で、グループでも一人でも気兼ねなくつ



ろげる雰囲気でした。休日ともっと賑わうのでしょうか。そして楽しいのが駅のホームにあるブルートレインのテラスと古い貨物列車。これぞ、あれなんです、ロマン。浪漫。Roman。別途料金が必要です。（100円）



楽しいトレッキングもできます。



富士急行線



あやめのシーズンは6月です。

くしますので楽しみにしててください。（荒井）

喫茶とロマンを堪能し、駅舎を見上げればそこには新倉山があり、のどかな風景を楽しむことができます。駅には「吉田のうどん」マップもありましたので、お昼には近くのお気に入りのお店をめぐり、古き町なかで物思いにふけるものよろしいかと存じます。それではまた、次回がありましたら力を尽くしますので楽しみにしてください。



とにかく駅と駅周辺が、きれいです。昭和の昔は銀座と呼ばれるほどにぎやかだった下吉田ですが、いまはとても静か。

○富士山環境学習支援プログラムのお知らせ

富士山ボランティアセンターでは、多くの人が富士山とふれ合い、知識を深め、富士山を愛する心や環境保全の意識を育むことを目的とし、富士山学習の支援事業を実施しております。交通費や謝礼等は一切必要ありません。企業における各種研修に是非御活用ください。

実施日.. 原則として平日の毎日
(年末年始をのぞく)

実施時間..

九時三十分～十六時三十分
の時間帯のうちの三十分間、

受講料.. 無料

対象.. 地域住民・各種団体・企業等および児童・生徒・学生(教員向け研修もあり)

定員.. 六十名まで

※業務の都合により実施できない日があります。

※実施時間・定員に関しては規定外でも応相談します。

申込.. 原則として1か月前までに申込みを行ってください。

所定の申込書に必要事項を記入の上、

FAXへ郵送／E-MAILにて送付してください。

詳細は下記をご覧ください。申込書については下記よりダウンロードできます。

<http://www.yamanashi-kankou.jp/fujisan/manabo/manabo001/index.html>

その他.. 事前の打ち合わせ・下見等が必要になる場合があります。申込み・打ち合わせは受講される団体の責任者が行ってください。旅行者等による代行は認めません。

問い合わせ..

富士山ボランティアセンター

電話 〇五五五二〇九二二九

FAX 〇五五五七二四一一四

○富士山環境保全募金の募集のお知らせ

富士山ボランティアセンターでは、富士山の環境を保全していくために、皆様からの募金を受け付けております。皆様から寄せられた募金は、富士山環境保全の費用として大切に活用させていただきます。皆様のご理解

とご協力をよろしくお願いいたします。

寄付金を入れる募金箱は、次の場所に設置されています。

募金箱設置場所..

富士山ボランティアセンター

富士山五合目総合管理センター

河口湖観光案内所

山梨県立富士山科学研究所

道の駅「なるさわ」

道の駅「しもべ」

ふじやまビール

道の駅「ふじよしだ」

山梨県立富士湧水の里水族館

山中湖平野温泉石割の湯

山中湖村役場

山中湖温泉 紅富士の湯

山中湖観光案内所

山中湖 花の都公園

※一万円以上の金額を提供いただいた方(団体)には、感謝状を贈呈させていただきますので、その際には直接富士山ボランティアセンターにご連絡くださるようお願いいたします。

問い合わせ..

富士山ボランティアセンター

電話 〇五五五二〇九二二九

FAX 〇五五五七二四一一四

富士山憲章(行動規範)

- 一、富士山の自然を学び、親しみ、豊かな恵みに感謝しよう。
- 一、富士山の美しい自然を大切に守り、豊かな文化を育もう。
- 一、富士山の自然環境への負荷を減らし、人との共生を図ろう。
- 一、富士山の環境保全のために、一人ひとりが積極的に行動しよう。
- 一、富士山の自然、景観、歴史・文化を後世に末長く継承しよう。

平成10年11月18日 山梨県・静岡県

富士山憲章は、富士山の自然環境の保全の理念や行動規範を示し、環境保全の実践活動と呼びかけ、国民的な規模で、運動の展開を図っていくことを目的としています。

富士山ボランティアセンター

(山梨県観光資源課富士山分室)

TEL: 0555-20-9229

FAX: 0555-72-4114

山梨県富士河口湖町船津剣丸尾6663-1

e-mail: fujisan@eps4.comlimk.ne.jp

本誌のバックナンバーについては、下記よりダウンロードできます。

<http://www.yamanashi-kankou.jp/volunteer/newsletter/index.html>

富士山環境保全メルマガの配信を希望する方は

「富士の国やまなし観光ネット 富士の国やまなしメールマガジン」

会員登録画面

(<http://www.yamanashi-kankou.jp/mailmagazine/regist.html>)

より会員登録してください。

富士山ボランティアセンターは、富士山の環境保全活動を推進するための活動拠点であり、富士山憲章山梨県推進会議(地元7市町村・恩賜県有財産保護組合及び山梨県から構成される)によって運営されています。